

苟日新 まこと ひ あら 苟に日に新たに
 日日新 ひび あら 日々に新たに
 又日新 また ひ あら 又日に新たなり
 出典 「大学」



「ゆめ・にっしん」は、平成18年2月創刊。「日々に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っています。

発行：まちの未来づくり日新 広報部会
 福井市文京5丁目1-8 日新公民館
 発行日：令和2年（2020年）12月23日

県が日新地区からの

「底喰川についての環境・美化整備に関する要望」を3/4承諾する

ご存知のように底喰川周辺の美化運動は「まちの未来づくり日新」では環境部会が中心に力を注いでいます。この運動は平成7年度よりまちづくりの一環として取り組むようになりましたが、地区の住民だけで行うには限界があります。

そこで、3年前の2017年10月24日に福井県土木事務所を訪れ要望を行いました。そのときは、低水路の土留めの丸太の補修、毎月末に行う底喰川清掃に伴うゴミの回収、(株)明林繊維側に河川に降りるステップの設置、道路脇の河川側通路のレンガの改善、堤防の樹木の支柱の撤去の5項目が認められました。残念ながら土砂の堆積・葦等の繁茂の中州の撤去はもう少し待つ様子を見検討してもらうことになってしまいました。

この最後の認められなかった中州の撤去を中心に、再度今年の11月12日に、まちの未来づくり日新の役員と公民館館長を含めた5名が福井県土木事務所を訪れ、「底喰川に係る環境・美化整備に関する要望」を提出しました。土木事務所側は次長の笹木氏、課長の戸庭氏、主任の竹村氏、そして今年の夏に底喰川の現場を見に来られた主査の小林氏4名の対応です。

「近年の底喰川の様子は川中に葦が茂り、島となっているところが目立つようになってきた。河原の清掃や花の管理は続けているものの、川中においては危険を伴うので限界がある。そこで、福井県に以下の4項目をお願いしたい。」などの要望に約45分をかけて話し合い、その結果、下記の4項目中1・2・3の項目が認められ今年度中に工事に入るとの回答を得ることが出来ました。残念ながら項目の4については今後の様子を見て検討するとの事でした。



記

1 乾徳1号橋上流の中州の撤去

平成27年3月に、一度重機を川中に入れて撤去してもらいましたが、いま再び巨大化した中州が形成されています。そして、この上にヨシが繁殖し、増水時には水の流れへの悪影響が考えられると共に、多量のゴミが引っ掛かり洪水発生の原因になることが懸念されるために撤去することをお願いしたい。

2 高水敷の一部の破損個所の補修

平成15年に高水敷が完成し、近年一部に破損個所が見られるようになった。このまま放置すれば、拡大し清掃美化活動にも支障をきたすことが予想される。早期の改修工事をお願いしたい。(8月11日 県土木の小林氏現地確認済)

3 堤防崩壊防止の観点から、側面のポケットの樹木を除去するとともに、コンクリートで表面をおおう等の処置をお願いしたい。

4 近年、川底の藻の繁殖が著しく、ゴミが引っ掛かり非常に見苦しいだけでなく、魚の動きの妨げになっている。除去をお願いしたい。



撤去される予定の中州

何故底喰川が一級河川なのか？ 国土保全上または国民経済上、特に重要な水系に係る河川で、国土交通大臣が指定したものが一級河川である。福井市内に流れている河川は大半が九頭竜川や日野川に繋がっている(水系)ので一級河川になり、管理は福井県になる

2、3年後に、もう一度「川底の藻の撤去」の申請をしていきたいですね。

第41回公民館まつり・ふれあい福祉祭り

『新型コロナウイルス感染拡大渦中』での公民館活動の催し物が次々と中止延期の中
今年の日新公民館祭りは

- 模擬店を取りやめ①
- 舞台発表は(教育事業)館内テレビ、ホームページで披露.....②
- 作品等は 10月18日～11月21日まで公民館館内に展示.....③

こんな中 10月18日の開催初日は、午前 70名 午後 44名の来場がありました



②のVTR内容は

- 1・コスモスコーラス
- 2・EOC体操
- 3・空手
- 4・カトリア
- 5・民謡
- 6 パワフルスティック
- 7・楽々太極拳
- 8・詩吟
- 9・スティックリング
- 10・卓球
- 11・フォークダンス
- 12・コカリナ
- 13・大正琴

以上 1時間 48分

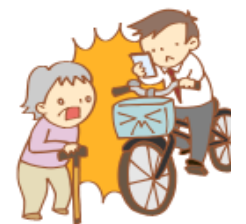


日新交番よりお知らせとお願い

日新交番所長 木原 一男



日新地区の皆様にご注意いただきたいことを申し上げます。一点目は、犯罪関係についてです。今年、新型コロナウイルス禍の影響で、日新公民館管内の犯罪発生は減少傾向にありますが、影響が薄くなれば増加に転ずる可能性は否定できません。日新公民館管内においては、10月末までに、住居侵入、車上狙い、置き引き、タイヤ盗、自転車盗などの犯罪が発生しています。他人事とは思わず、自動車や自転車には必ず鍵をかけてください。また、留守や就寝時はもとより日中の在宅時も、玄関等には鍵をかけるように習慣づけましょう。県内における特殊詐欺の発生状況については、被害金額は減少しているものの、被害件数は昨年とほぼ同数です。知らない電話には出ない、安易に個人情報をお教えしない、心当たりのないメールには返信しないように注意してください。



二点目は、交通事故についてです。

今年 11月18日現在、福井県内で34人、福井署管内で10人、日新交番管内では1人の方が、交通事故で亡くなっています。これは昨年を上回る数値です。乗車の際は必ずシートベルトを装着し、運転の方は、早めのライト点灯、交差点等での確実な安全確認をお願いします。歩行者の方は、横断歩道を積極的に利用し、夜間外出する場合は、明るい服装と反射材の着用をお願いします。以上が日新交番からのお願いです。

これはなあに？



写真①

右の**写真②**は乾徳橋から撮ったものです。左が乾徳ポンプ場、右が上里ポンプ場で、これを繋いでいる小さな橋の中央にあるのが**写真①**です。これは超音波式水位計です。

この水位計は発信器より発射された超音波が水面によって反射され再び発信器まで戻ってくる時間から水位観測を行っています。

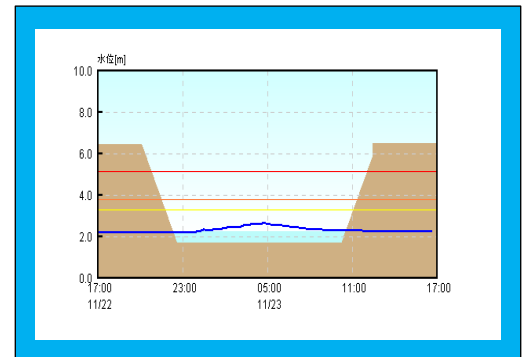


写真②

観測された情報は、福井県河川砂防総合情報からパソコンやスマートフォンで検索(底喰川)することができます。下の画像は上里底喰川断面の11月23日16時のものです。

また中の横線は

- 氾濫水位超過は..... **赤**
- 避難判断推移超過は..... **黄色**
- 平常水位は..... **青**
- 欠測は **灰色** です。



また、乾徳・上里の両ポンプ場とも合流式ポンプ場であり各家庭や工場等から下水管の中を流れてきた汚水を下水処理場へ送水しており、降雨

時における雨水も下水管に流れ込みます。合流式ポンプ場では、通常、雨水も下水処理場へ送水していますが、大雨時や豪雨時に雨水が大量に増えた場合は、雨水を河川に放流し、市街地の浸水を防止します。

台風や豪雨時にはご覧になり、ご注意ください。

街の文化人 日本画家 岩堀 葉さん

今回は公民館玄関ロビーに展示してある猫と魚の大きな絵の作者を紹介します。文京5丁目にお住いの日本画家・岩堀葉さん(38才)です。岩堀さんを「ゆめにつしん」で紹介するのは、平成12年に続き2回目になります。



彼女は小学校の頃から絵に興味を抱き、小学5年生から高校3年生まで松崎鐘美氏に師事してきました。松崎氏は線や色面を多く使うことで、大胆な構図で原色を多用し細かい線描写を用いた画風の洋画家です。県内外で多数の個展を開き天才画家と呼ばれましたが58歳(平成17年)の若さで亡くなりました。

岩堀さんは「小学生から高校まで松崎先生に師事していた時は、ひたすらデッサンをさせられました。」と言っています。絵の基本であるデッサンを完璧になるまで仕込まれたのでしょうか。そして、彼女は京都の嵯峨美術大学へ進学され日本画に出会い、本格的に学び始めます。洋画家の松崎氏に師事されたのに、なぜ日本画を選ばれたのですか？と聞いたところ、「日本画に魅せられたのは岩絵具の優しさです。岩絵具は砂のような粉末で膠(ニカワ)を混ぜて接着させますが、このサラサラ感が優しいのです。」と答えていただきました。



岩堀 葉さんと 公民館に飾られた作品

岩堀さんは福井に戻られてからは2015年に初の個展を開き、その後作品を描くことの傍ら福井駅前などで、その場で感じたままのライブペイントを行ったりすることで話題を呼んでいます。現在は小さい時から好きだった「猫」を描かれています。

今回は公民館から「新型コロナウイルス感染拡大のこの時期に元気になるものを書いてください」との要望で「猫と魚」を描かれました。「空いたスペースに付箋紙で誰でも好きに書いてください。付箋紙も含めて、全てで作品です。」と話されました。

公民館にお立ち寄りの際は是非ご覧になってください。

今年度の事業も残り少なくなった今日、底喰川のいつものコースを眺めながらやってきた事を振り返ってみました。閉鎖された環境の中ではよく頑張った。これは自負であってもこれからの活力になればと思います。実施内容として8月2日の「ミソハギ花まつり」に対するミソハギの手入れ、草刈り、草取り、花の苗植え、水やり管理、ゴミ拾い等を。8月25日からは葉ボタンの種蒔きから植え付けまでを。9月27日草刈り機購入、手入れ。10月3日葎刈り。10月13日公民館まつりの展示用パネルづくり。10月24日緑の愛護授賞と植樹式への参加。10月31日11月1日ミソハギ刈りと川中の藻刈り上げ。11月5日藤島中学校生徒約100人のボランティアに環境部会10人によるミソハギ枝集積と花壇に植え付けの指導。11月8日ミニプランターにビオラと球根を入れる。11月12日福井県土木事務所に陳情。11月23日定例清掃予定、その他皇帝ダリア、花壇や植え込みの管理を有志で行っています。(コロナでの休みはありません)



朝、夕めっきりと寒さも厳しくなり、新型コロナ禍にあっても、お変わりないことを祈っております。

現在の社会環境は、必然的に日々の生活様式も変えることを余儀なくされる状況に至っていると思います。特に新型コロナの感染数値が第3波を迎えるという現在、最悪の状態になっており(11月21日最高値2565名の感染)、各都道府県も最多更新続々と……。その収束の見通しとしては極めて厳しい状況にあるでしょう。



皆様においては、日々の行動についてくれぐれも感染防止のために三密(密閉・密集・密接)には十分に気を付けてください。(マスク、手洗い、ソーシャルディスタンス、うがい等)

100年前には「スペイン風邪」というウィルス感染症が世界流行(パンデミック)に期し、約5000万人以上、日本でも30万人の人たちが亡くなっています。このウィルス感染の収束に至るまでには、約三年以上の時間が費やされたそうです。現在の科学の医療体制の進歩があったとしても、新型コロナウイルスに対するワクチン、特効薬等の研究、開発があったとしても完全に収束に至るまでには早くても2年強ぐらいはかかるのではないのでしょうか。

今年度はコロナに始まりコロナで終始するような一年であったかと思えます。

その長い期間中、当交通部会のイベント企画を約8カ月間休止しておりましたが(感染拡大防止の為)、このたび10月より「さんさん映画会」(第2第4木曜日)と「福の湯(旧佐野温泉)企画」(毎週月曜第2便)については、再スタートする事となりました。10月は、以前の約60~70%位の参加者ではありましたが、皆さんには大変喜んで参加をしていただきました。

これからも地域住民の人達に、極めて厳しい社会環境に対応すべく、より楽しみを感じてもらい、その精神的なよりどころとなるべく企画内容とも十二分に考慮しながら、まちづくりコミュニティバス運行事業部役員一同しっかりと事業に取り組ん

都会の友人達が芦原温泉に来るとの連絡を受ける。何十年ぶりの再会なので会いに行きたいと思うが、今も止まない新型コロナウイルス感染拡大禍なので迷っていると、友人が察したのが「福井はまだ閉鎖的だから兄貴はこないほうがいいよ」とのメールをいただいた。持つべきは友である。アフターコロナはまだまだ先の様である。

ところで、新型コロナウイルス禍の中で、輸送の飛行機の本数が減らされているにもかかわらず、先日ボジョレー・ヌーヴォー(フランスボジョレー地区で、その年に収穫されたブドウを使っての新酒を飲み始める事)は中止も延期もなく、予定通り11月の第3木曜日の11月19日無事に行われた。



どのような事態になってもフランス人は食に対する文化は守るようである。